

実践発表 1

「学びつつ楽しむ九州への旅」

発表者 文化女子大学附属杉並中学・高等学校

中学部長 石井 基一

昨年、九州・長崎を中心とした修学旅行を行いました。昨年のちょうど今の時期、11月の19日から22日まで、3泊4日の旅行を実施しました。そのとき次の3つの目的を挙げました。

- (1) 体験学習やグループ研修を通じて、歴史や平和について学ぼう。
- (2) 正しく過ごすためにルールを守り、社会性や協調性も身につけよう。
- (3) 中学3年生最後の忘れられない思い出をつくろう。

第1日目、長崎に入り平和学習。2日目が市内見学、これは自由行動でした。3日目はハウステンボスに行き、最後4日目が有田焼の絵つけ・太宰府天満宮の見学という行程で行いました。

事前学習では、4つのポイントを挙げました。一つは調理実習の時間にカステラや「梅ヶ枝餅」、それからチャンポンなどを生徒たちにつくらせ、九州の食文化についてのちょっとした意識づけをさせました。

次に情報学習の時間にパソコンを使い、自分たちが回る場所とグループ研修などを行う場所について調べさせました。

特別活動の時間、これは情報の時間も含めてですが、メール交流、長崎にある私立の女子中学校、純心中学校にお願いし、生徒同士で情報交換を行いました。向こうの女子中学生の目でみて「こういうところがよい」などというところを紹介してもらったり、幾つか生徒たちは教わりました。修学旅行委員の活動では、しおりをつくったり、自分たちのホームページをつくったりしました。

次に生徒が撮った写真から生徒たちの様子なども見ていただきます。

(以下パワーポイントによりビデオの映像の説明になる。内容省略)

修学旅行を振り返りまして、最初に3つ目的を挙げましたが、目的は達成できたと思います。そして、生徒たちの満足度も非常に高かったのではないかと思います。見学するところ、行動するところをきちっと調べた生徒にとっては、より充実した修学旅行になったと思います。

今回初めて地元の女子中学校とメールの交流を持つことができましたが、この修学旅行の日程がウィークデーだったものですから相手の中学生と直接会ったり、一緒に行動したりするこ

とができませんでしたことは残念だったと思います。

食べ物の写真が幾つか出てきたかと思いますが、私の学校は女子中学校であり、食を取り扱ったことは興味、関心を膨らませる一つの要因、要素ではなかったかなと思います。

家族で旅行する生徒も沢山いるかと思いますが、家族旅行で自分の思い通りになったり、いい部屋に泊まったり、いい食事をとったりしたという経験がある生徒が多いと思います。そういう意味では、修学旅行の期間、できるだけ満足できるような修学旅行になるよう心がけました。